

拠点区分貸借対照表（第三号第四様式）

（自）令和5年4月1日 （至）令和6年3月31日

法人運営事業拠点区分貸借対照表

令和 6年 3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
	当年度末	前年度末	増 減
0001 流動資産	54,821,673	62,168,747	△7,347,074
0360 現金預金	42,172,525	55,723,075	△13,550,550
0322 事業未収金	1,067	646,878	△645,811
1132 未収金	1,287,000	0	1,287,000
1133 未収補助金	6,000,000	1,000,000	5,000,000
1161 立替金	5,361,081	4,761,148	599,933
1162 前払金	0	37,646	△37,646
0002 固定資産	1,146,842,818	1,109,613,321	37,229,497
0003 基本財産	2,000,000	2,000,000	0
1221 定期預金	2,000,000	2,000,000	0
0004 その他の固定資産	1,144,842,818	1,107,613,321	37,229,497
1315 車輛運搬具	2,571,543	2,571,543	0
1316 器具及び備品	35,690,020	45,741,688	△10,051,668
1319 有形リース資産	8,372,433	13,967,913	△5,595,480
1318 減価償却累計額 △	22,219,893	29,642,194	△7,422,301
1321 権利	855,760	855,760	0
1322 ソフトウェア	781,200	781,200	0
0323 退職給付引当資産	469,430,700	426,726,021	42,704,679
1337 会費収入繰越積立資産	8,700,467	9,027,167	△326,700
0325 福祉基金積立資産	542,693,751	541,995,702	698,049
1348 賞与積立資産	54,948,387	52,570,071	2,378,316
1362 運転資金積立資産	43,000,000	43,000,000	0
1334 長期前払費用	18,450	18,450	0
資産の部合計	1,201,664,491	1,171,782,068	29,882,423
		純 資 産 の 部	
		当年度末	前年度末
		0006 流動負債	104,827,648
		0327 事業未払金	46,077,269
		2124 1年以内返済予定リース債務	1,040,292
		0328 預り金	122,142
		0329 職員預り金	2,639,558
		2152 賞与引当金	54,948,387
		0007 固定負債	471,731,952
		2313 リース債務	2,301,252
		0354 退職給付引当金	469,430,700
		負債の部合計	539,863,971
		純 資 産 の 部	
		0009 基本金	2,000,000
		3111 基本金	2,000,000
		0258 基金	541,995,702
		3122 福祉基金	541,995,702
		0011 その他の積立金	52,027,167
		3217 会費収入繰越積立金	9,027,167
		3221 その他の積立金	43,000,000
		0012 次期繰越活動増減差額	35,895,228
		3311 次期繰越活動増減差額	35,895,228
		3312 (うち当期活動増減差額)	△10,357,120
		純資産の部合計	631,918,097
		負債及び純資産の部合計	1,171,782,068
			△6,813,206
			29,882,423

地域福祉活動推進事業拠点区分貸借対照表

令和 6年 3月31日現在

（単位：円）

資 産 の 部		負 債 の 部	
	当年度末	前年度末	増 減
0001 流動資産	16,887,357	16,924,714	△37,357
0360 現金預金	15,435,547	16,266,677	△831,130
0322 事業未収金	656,150	567,738	88,412
1132 未収金	780,000	0	780,000
1161 立替金	5,624	22,963	△17,339
1162 前払金	10,036	67,336	△57,300
0002 固定資産	587,841	952,204	△364,363
0004 その他の固定資産	587,841	952,204	△364,363
1314 機械及び装置	397,720	397,720	0
1315 車輛運搬具	17,398,846	17,398,846	0
1316 器具及び備品	118,580	614,180	△495,600
1318 減価償却累計額 △	17,461,775	17,593,012	△131,237
1334 長期前払費用	134,470	134,470	0
資産の部合計	17,475,198	17,876,918	△401,720
		純 資 産 の 部	
		当年度末	前年度末
		16,887,357	16,924,714
		16,876,883	16,924,714
		10,474	0
		16,887,357	16,924,714
		0012 次期繰越活動増減差額	
		587,841	952,204
		587,841	952,204
		△9,391,530	△9,787,183
			395,653
		純資産の部合計	
		587,841	952,204
		17,475,198	17,876,918
		△364,363	△401,720

安城善意銀行事業拠点区分貸借対照表

令和 6年 3月31日現在

（単位：円）

資 産 の 部		負 債 の 部	
	当年度末	前年度末	増 減
0001 流動資産	12,567,959	11,492,573	1,075,386
0360 現金預金	12,567,959	11,492,573	1,075,386
0002 固定資産	31,067,188	31,317,582	△250,394
0004 その他の固定資産	31,067,188	31,317,582	△250,394
1316 器具及び備品	900,000	900,000	0
1318 減価償却累計額 △	899,999	899,999	0
1330 貸付事業等貸付金	956,450	1,175,450	△219,000
1355 中根文庫設置積立資産	110,737	142,131	△31,394
1349 善意銀行事業基金積立資産	30,000,000	30,000,000	0
資産の部合計	43,635,147	42,810,155	824,992
		負債及び純資産の部合計	
		当年度末	前年度末
		0006 流動負債	22,500
		0327 事業未払金	22,500
		負債の部合計	22,500
		純 資 産 の 部	
		0258 基金	30,000,000
		3125 善意銀行事業基金	30,000,000
		0011 その他の積立金	142,131
		3202 中根文庫設置積立金	142,131
		0012 次期繰越活動増減差額	12,645,524
		3311 次期繰越活動増減差額	12,645,524
		3312（うち当期活動増減差額）	519,075
		純資産の部合計	42,787,655
		負債及び純資産の部合計	42,810,155
			824,992

ボランティア活動振興事業拠点区分貸借対照表

令和 6年 3月31日現在

(単位：円)

	資 産 の 部		負 債 の 部	
	当年度末	前年度末	当年度末	前年度末
0001 流動資産			0006 流動負債	
0360 現金預金	3,855,752	4,263,389		4,263,389
0002 固定資産	443,060	172,946	0327 事業未払金	4,262,911
0004 その他の固定資産	443,060	172,946	0329 職員預り金	478
1316 器具及び備品	2,315,252	2,426,912	負債の部合計	4,263,389
1318 減価償却累計額 △	1,872,192	2,253,966	純 資 産 の 部	
			0012 次期繰越活動増減差額	443,060
			3311 次期繰越活動増減差額	443,060
			3312 (うち当期活動増減差額)	270,114
			純資産の部合計	443,060
資産の部合計	4,298,812	4,436,335	負債及び純資産の部合計	4,436,335
				△137,523
				△137,523

ふれあいサービスセンター拠点区分貸借対照表

令和 6年 3月31日現在

（単位：円）

資 産 の 部		負 債 の 部	
	当年度末	前年度末	増 減
0001 流動資産	1,849,447	619,625	1,229,822
0360 現金預金	1,849,447	619,625	1,229,822
0002 固定資産	2	2	0
0004 その他の固定資産	2	2	0
1315 車輛運搬具	756,617	756,617	0
1316 器具及び備品	126,690	126,690	0
1318 減価償却累計額 △	883,305	883,305	0
資産の部合計	1,849,449	619,627	1,229,822
		純 資 産 の 部	
		当年度末	前年度末
		1,849,447	619,625
		1,837,438	618,975
		12,009	650
		1,849,447	619,625
		1,229,822	1,229,822
		0012 次期繰越活動増減差額	2
		3311 次期繰越活動増減差額	2
		純資産の部合計	2
		負債及び純資産の部合計	619,627
		1,849,449	1,229,822

障害相談支援事業拠点区分貸借対照表

令和 6年 3月31日現在

(単位：円)

	資 産 の 部		負 債 の 部	
	当年度末	前年度末	当年度末	前年度末
0001 流動資産	13,937,420	13,282,974	0006 流動負債	13,282,974
0360 現金預金	9,022,080	8,557,533	0327 事業未払金	13,282,974
0322 事業未収金	4,915,340	4,691,230	0329 職員預り金	0
1161 立替金	0	6,770	2141 前受金	0
1162 前払金	0	27,441	負債の部合計	13,282,974
0002 固定資産	260,505	154,905	純 資 産 の 部	
0004 その他の固定資産	260,505	154,905	0012 次期繰越活動増減差額	260,505
1315 車輜運搬具	3,753,958	3,753,958	3311 次期繰越活動増減差額	260,505
1316 器具及び備品	109,080	109,080	3312 (うち当期活動増減差額)	105,600
1318 減価償却累計額 △	3,863,033	3,863,033		
1322 ソフトウェア	235,400	129,800		
1334 長期前払費用	25,100	25,100	純資産の部合計	260,505
資産の部合計	14,197,925	13,437,879	負債及び純資産の部合計	13,437,879
				105,600
				760,046

ホームヘルパー事業拠点区分貸借対照表

令和 6年 3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部			負 債 の 部		
	当年度末	前年度末		当年度末	前年度末
0001 流動資産	58,510,888	57,444,522	0006 流動負債	7,620,864	7,955,706
0360 現金預金	50,073,882	47,464,258	0327 事業未払金	7,606,414	7,939,475
0322 事業未収金	7,215,957	8,989,199	0329 職員預り金	14,450	16,231
1132 未収金	1,200,000	0	負債の部合計	7,620,864	7,955,706
1133 未収補助金	0	987,000	純 資 産 の 部		
1161 立替金	5,658	955	0012 次期繰越活動増減差額	52,056,624	50,670,782
1162 前払金	15,191	3,110	3311 次期繰越活動増減差額	52,056,624	50,670,782
0002 固定資産	1,166,800	1,181,966	3312 (うち当期活動増減差額)	1,385,842	6,634,290
0004 その他の固定資産	1,166,800	1,181,966			
1315 車輛運搬具	8,889,425	8,889,425			
1316 器具及び備品	2,048,800	2,048,800			
1318 減価償却累計額 △	9,827,885	9,812,719			
1334 長期前払費用	56,460	56,460			
資産の部合計	59,677,488	58,626,488	純資産の部合計	52,056,624	50,670,782
			負債及び純資産の部合計	59,677,488	58,626,488
					1,051,000

総合福祉センター拠点区分貸借対照表

令和 6年 3月31日現在

（単位：円）

資 産 の 部		増 減		負 債 の 部		増 減	
	当年度末	前年度末			当年度末	前年度末	
0001 流動資産	20,166,172	24,865,721	△4,699,549	0006 流動負債	20,166,172	24,865,721	△4,699,549
0360 現金預金	18,947,343	24,499,937	△5,552,594	0327 事業未払金	20,146,296	20,864,758	△718,462
0322 事業未収金	598,672	284,034	314,638	0329 職員預り金	19,876	963	18,913
1132 未収金	600,000	0	600,000	2151 仮受金	0	4,000,000	△4,000,000
1161 立替金	20,074	33,283	△13,209	負債の部合計	20,166,172	24,865,721	△4,699,549
1162 前払金	83	48,467	△48,384	純 資 産 の 部			
				純資産の部合計	0	0	0
資産の部合計	20,166,172	24,865,721	△4,699,549	負債及び純資産の部合計	20,166,172	24,865,721	△4,699,549

北部福祉センター拠点区分貸借対照表

令和 6年 3月31日現在

(単位：円)

	資 産 の 部		負 債 の 部		増 減
	当年度末	前年度末	当年度末	前年度末	
0001 流動資産	7,142,035	6,900,273		6,900,273	241,762
0360 現金預金	4,348,474	6,885,219			△2,536,745
1132 未収金	2,756,000	0			2,756,000
1161 立替金	21,963	15,054			6,909
1162 前払金	15,598	0			15,598
資産の部合計	7,142,035	6,900,273			241,762
			純 資 産 の 部		
				0	0
			純資産の部合計		
				7,142,035	241,762
			負債及び純資産の部合計		
				6,900,273	241,762

西部福祉センター拠点区分貸借対照表

令和 6年 3月31日現在

（単位：円）

資 産 の 部		増 減		負 債 の 部	
	当年度末	前年度末		当年度末	前年度末
0001 流動資産	8,541,977	5,557,864	2,984,113	0006 流動負債	5,557,864
0360 現金預金	8,523,099	4,539,917	3,983,182	0327 事業未払金	5,551,798
0322 事業未収金	3,878	0	3,878	0329 職員預り金	6,066
1132 未収金	0	1,000,000	△1,000,000	負債の部合計	5,557,864
1161 立替金	15,000	15,744	△744	純 資 産 の 部	
1162 前払金	0	2,203	△2,203	純資産の部合計	0
資産の部合計	8,541,977	5,557,864	2,984,113	負債及び純資産の部合計	5,557,864
					2,984,113

桜井福祉センター拠点区分貸借対照表

令和 6年 3月31日現在

(単位：円)

	資 産 の 部		負 債 の 部		増 減
	当年度末	前年度末	当年度末	前年度末	
0001 流動資産	15,283,556	13,693,811	0006 流動負債	15,283,556	1,589,745
0360 現金預金	10,818,666	6,200,239	0327 事業未払金	15,259,033	13,687,084
0322 事業未収金	4,449,890	5,478,572	0329 職員預り金	24,523	6,727
1132 未収金	0	2,000,000	負債の部合計	15,283,556	13,693,811
1161 立替金	15,000	15,000	純 資 産 の 部	0	0
			純資産の部合計	15,283,556	13,693,811
資産の部合計	15,283,556	13,693,811	負債及び純資産の部合計	15,283,556	1,589,745
					0
					1,589,745

中部福祉センター拠点区分貸借対照表

令和 6年 3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
	当年度末	前年度末	増 減
0001 流動資産	8,367,929	4,699,298	3,668,631
0360 現金預金	8,352,929	3,652,624	4,700,305
1132 未収金	0	1,000,000	△1,000,000
1161 立替金	15,000	22,971	△7,971
1162 前払金	0	23,703	△23,703
資産の部合計	8,367,929	4,699,298	3,668,631
		純 資 産 の 部	
			0
		純資産の部合計	0
		負債及び純資産の部合計	8,367,929
			4,699,298
			3,668,631

安祥福祉センター拠点区分貸借対照表

令和 6年 3月31日現在

（単位：円）

資 産 の 部		負 債 の 部	
	当年度末	当年度末	前年度末
	増	減	増
0001 流動資産	8,285,531	2,397,975	5,887,556
0360 現金預金	8,270,531	2,420,801	5,849,730
1161 立替金	15,000	△5,932	20,932
1162 前払金	0	△16,894	16,894
		負債の部合計	8,285,531
		純 資 産 の 部	
		純資産の部合計	0
資産の部合計	8,285,531	負債及び純資産の部合計	8,285,531
			5,887,556
			0
			2,397,975

居宅介護支援事業拠点区分貸借対照表

令和 6年 3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
	当年度末	前年度末	増 減
0001 流動資産	10,062,016	4,139,289	5,922,727
0360 現金預金	3,818,895	911,736	2,907,159
0322 事業未収金	4,308,070	3,227,553	1,080,517
1132 未収金	1,920,000	0	1,920,000
1161 立替金	4,600	0	4,600
1162 前払金	10,451	0	10,451
0002 固定資産	851,730	111,905	739,825
0004 その他の固定資産	851,730	111,905	739,825
1315 車輛運搬具	1,789,310	784,640	1,004,670
1316 器具及び備品	301,896	430,896	△129,000
1318 減価償却累計額 △	1,254,746	1,112,351	142,395
1334 長期前払費用	15,270	8,720	6,550
資産の部合計	10,913,746	4,251,194	6,662,552
		純 資 産 の 部	
		当年度末	前年度末
		7,470,407	1,547,680
0006 流動負債		7,470,407	1,547,680
0327 事業未払金		7,470,407	1,528,522
0329 職員預り金		0	19,158
負債の部合計		7,470,407	1,547,680
		増 減	
		増	減
		5,922,727	5,922,727
		2,907,159	5,941,885
		1,080,517	△19,158
		1,920,000	5,922,727
		4,600	
		10,451	
		739,825	739,825
		1,004,670	760,052
		△129,000	
		142,395	
		6,550	
		6,662,552	6,662,552
		4,251,194	6,662,552
		10,913,746	6,662,552

地域包括支援事業拠点区分貸借対照表

令和 6年 3月31日現在

（単位：円）

資 産 の 部		増 減		負 債 の 部	
	当年度末	前年度末		当年度末	前年度末
0001 流動資産	9,115,721	10,408,159	△1,292,438	0006 流動負債	2,622,126
0360 現金預金	7,115,363	8,343,187	△1,227,824	0327 事業未払金	2,608,212
0322 事業未収金	2,000,358	1,965,972	34,386	0329 職員預り金	13,914
1133 未収補助金	0	99,000	△99,000	負債の部合計	2,622,126
0002 固定資産	893,463	25,448	868,015	純 資 産 の 部	
0004 その他の固定資産	893,463	25,448	868,015	0012 次期繰越活動増減差額	8,182,173
1315 車輛運搬具	4,075,664	3,082,494	993,170	3311 次期繰越活動増減差額	7,811,481
1316 器具及び備品	2,538,960	2,538,960	0	3312（うち当期活動増減差額）	△18,144
1318 減価償却累計額 △	5,745,591	5,613,886	131,705		
1334 長期前払費用	24,430	17,880	6,550	純資産の部合計	7,811,481
資産の部合計	10,009,184	10,433,607	△424,423	負債及び純資産の部合計	10,433,607
					△424,423

計算書類注記（拠点区分）

令和6年3月31日

計算書類に対する注記

(法人運営事業拠点区分用)

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ・満期保有目的の債券等
償却原価法（定額法）とする。
- ・上記以外の有価証券で時価のあるもの
決算日の市場価格に基づく時価法とする。

(2) 固定資産の減価償却の方法

- ・機械及び装置、車両運搬具、器具及び備品、権利、ソフトウェア
定額法とする。
- ・リース資産
所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法による。

(3) 引当金の計上基準

- ・退職給付引当金
職員の退職給付に備えるため、期末要支給額を計上する。
- ・賞与引当金
職員に支給する賞与に備えるため、支給見込額のうち当該会計年度の負担に属する額を計上する。
- ・徴収不能引当金
金銭債権のうち、徴収不能の見込み額を計上している。

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 採用する退職給付制度

退職給付制度は社会福祉法人安城市社会福祉協議会職員退職手当支給規程及び一般財団法人愛知県民間社会福祉福祉事業職員共済会の制度による。

4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- (1) 法人運営事業拠点計算書類(会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式)
- (2) 拠点区分事業活動明細書(別紙3(㉪))
 - ア 法人運営事業
 - イ 基金運営事業
 - ウ 社会福祉会館事業
- (3) 拠点区分資金収支明細書(別紙3(㉫))
 - ア 法人運営事業

- イ 基金運営事業
- ウ 社会福祉会館事業

5. 基本財産の増減の内容及び金額
基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	2,000,000	0	0	2,000,000
合 計	2,000,000	0	0	2,000,000

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩
該当なし

7. 担保に供している資産
該当なし

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
貸借対照表上、直接法で表示しているものは、以下のとおりである。
該当なし

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高
貸借対照表上、直接法で表示しているものは、以下のとおりである。
該当なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は以下のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
名古屋高速道路公社債20年	100,000,000	91,517,600	△8,482,400
福岡市公募公債20年	80,000,000	68,415,280	△11,584,720
愛知県公募公債10年	20,000,000	20,094,000	94,000
兵庫県公募公債10年	100,000,000	100,392,500	392,500
横浜事業公募10年	30,000,000	30,088,350	88,350
兵庫県公募公債20年	100,000,000	95,227,000	△4,773,000
国際協力機構債券20年	100,000,000	92,861,900	△7,138,100
名古屋高速道路公社債20年	50,000,000	45,758,800	△4,241,200
福岡市公募公債20年	20,000,000	17,103,820	△2,896,180
東海国立大学機構債20年	80,000,000	75,304,000	△4,696,000
共同発行市場公募地方債10年	10,000,000	10,044,000	44,000
国際協力機構債券20年	30,000,000	27,114,000	△2,886,000
合 計	720,000,000	673,921,250	△46,078,750

1 1. 重要な後発事象

該当なし

1 2. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

計算書類に対する注記

(企画広報事業拠点区分用)

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
 - ・該当なし
- (2) 固定資産の減価償却の方法
 - ・該当なし
- (3) 引当金の計上基準
 - ・該当なし

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 採用する退職給付制度

該当なし

4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- (1) 企画広報事業拠点計算書類(会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式)
- (2) 拠点区分事業活動明細書(別紙3(㉪))
 - ア 広報紙発行事業
 - イ 福祉まつり事業
 - ウ 福祉大会事業
- (3) 拠点区分資金収支明細書(別紙3(㉩))
 - ア 広報紙発行事業
 - イ 福祉まつり事業
 - ウ 福祉大会事業

5. 基本財産の増減の内容及び金額

該当なし

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩

該当なし

7. 担保に供している資産

該当なし

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当なし

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

該当なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

計算書類に対する注記

(福祉推進事業拠点区分用)

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
 - ・該当なし
- (2) 固定資産の減価償却の方法
 - ・該当なし
- (3) 引当金の計上基準
 - ・該当なし

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 採用する退職給付制度

該当なし

4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- (1) 福祉推進事業拠点計算書類(会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式)
- (2) 拠点区分事業活動明細書(別紙3(㉪))
 - ア 障害者福祉事業
 - イ 福祉教育推進事業
 - ウ 法外援護事業
- (3) 拠点区分資金収支明細書(別紙3(㉩))
 - ア 障害者福祉事業
 - イ 福祉推進事業
 - ウ 法外援護事業

5. 基本財産の増減の内容及び金額

該当なし

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩

該当なし

7. 担保に供している資産

該当なし

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当なし

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

該当なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

計算書類に対する注記

(地域福祉活動推進事業拠点区分用)

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
 - ・該当なし
- (2) 固定資産の減価償却の方法
 - ・定額法とする。
- (3) 引当金の計上基準
 - ・該当なし

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 採用する退職給付制度

該当なし

4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- (1) 地域福祉活動推進事業拠点計算書類(会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式)
- (2) 拠点区分事業活動明細書(別紙3(㉪))
 - ア 地域福祉活動推進事業
 - イ 心配ごと相談事業
 - ウ 介護予防事業
- (3) 拠点区分資金収支明細書(別紙3(㉩))
 - ア 地域福祉活動推進事業
 - イ 心配ごと相談事業
 - ウ 介護予防事業

5. 基本財産の増減の内容及び金額

該当なし

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩

該当なし

7. 担保に供している資産

該当なし

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
貸借対照表上、直接法で表示しているものは、以下のとおりである。

該当なし

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

該当なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び
純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

計算書類に対する注記

(福祉サービス利用援助事業拠点区分用)

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
 - ・該当なし
- (2) 固定資産の減価償却の方法
 - ・定額法とする。
- (3) 引当金の計上基準
 - ・該当なし

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 採用する退職給付制度

該当なし

4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- (1) 福祉サービス利用援助事業拠点計算書類(会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式)
- (2) 拠点区分事業活動明細書(別紙3(⑪))
 - ア 福祉サービス利用援助事業
- (3) 拠点区分資金収支明細書(別紙3(⑩))
 - ア 福祉サービス利用援助事業

5. 基本財産の増減の内容及び金額

該当なし

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩

該当なし

7. 担保に供している資産

該当なし

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
貸借対照表上、直接法で表示しているものは、以下のとおりである。
該当なし

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高
該当なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当なし

11. 重要な後発事象
該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び
純資産の状態を明らかにするために必要な事項
該当なし

計算書類に対する注記

(共同募金配分事業拠点区分用)

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
 - ・該当なし
- (2) 固定資産の減価償却の方法
 - ・定額法とする。
- (3) 引当金の計上基準
 - ・該当なし

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 採用する退職給付制度

該当なし

4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- (1) 共同募金配分事業拠点計算書類(会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式)
- (2) 拠点区分事業活動明細書(別紙3(Ⅺ))
 - ア 一般募金配分事業
 - イ 歳末たすけあい配分事業
- (3) 拠点区分資金収支明細書(別紙3(Ⅹ))
 - ア 一般募金配分事業
 - イ 歳末たすけあい配分事業

5. 基本財産の増減の内容及び金額

該当なし

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩

該当なし

7. 担保に供している資産

該当なし

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
貸借対照表上、直接法で表示しているものは、以下のとおりである。

該当なし

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

該当なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び
純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

計算書類に対する注記

(安城善意銀行事業拠点区分用)

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
 - ・該当なし
- (2) 固定資産の減価償却の方法
 - ・定額法とする。
- (3) 引当金の計上基準
 - ・該当なし

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 採用する退職給付制度

該当なし

4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- (1) 安城善意銀行事業拠点計算書類(会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式)
- (2) 拠点区分事業活動明細書(別紙3(⑪))
 - ア 安城善意銀行事業
- (3) 拠点区分資金収支明細書(別紙3(⑩))
 - ア 安城善意銀行事業

5. 基本財産の増減の内容及び金額

該当なし

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩

該当なし

7. 担保に供している資産

該当なし

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
貸借対照表上、直接法で表示しているものは、以下のとおりである。
該当なし

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高
債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。
該当なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当なし

11. 重要な後発事象
該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び
純資産の状態を明らかにするために必要な事項
該当なし

計算書類に対する注記

(生活福祉資金貸付事業拠点区分用)

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

・該当なし

(2) 固定資産の減価償却の方法

・該当なし

(3) 引当金の計上基準

・該当なし

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 採用する退職給付制度

該当なし

4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

(1) 生活福祉資金貸付事業拠点計算書類(会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式)

(2) 拠点区分事業活動明細書(別紙3(⑪))

ア 生活福祉資金貸付事業

(3) 拠点区分資金収支明細書(別紙3(⑩))

ア 生活福祉資金貸付事業

5. 基本財産の増減の内容及び金額

該当なし

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩

該当なし

7. 担保に供している資産

該当なし

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
該当なし

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高
該当なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当なし

11. 重要な後発事象
該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項
該当なし

計算書類に対する注記

(ボランティア活動振興事業拠点区分用)

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

・該当なし

(2) 固定資産の減価償却の方法

・定額法とする。

(3) 引当金の計上基準

・該当なし

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 採用する退職給付制度

該当なし

4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

(1) ボランティア活動振興事業拠点計算書類(会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式)

(2) 拠点区分事業活動明細書(別紙3(⑪))

ア ボランティア活動振興事業

(3) 拠点区分資金収支明細書(別紙3(⑩))

ア ボランティア活動振興事業

5. 基本財産の増減の内容及び金額

該当なし

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩

該当なし

7. 担保に供している資産

該当なし

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
貸借対照表上、直接法で表示しているものは、以下のとおりである。
該当なし

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高
該当なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当なし

11. 重要な後発事象
該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び
純資産の状態を明らかにするために必要な事項
該当なし

計算書類に対する注記

(ふれあいサービスセンター拠点区分用)

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
 - ・ 該当なし
- (2) 固定資産の減価償却の方法
 - ・ 定額法とする。
- (3) 引当金の計上基準
 - ・ 該当なし

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 採用する退職給付制度

該当なし

4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- (1) ふれあいサービスセンター拠点計算書類(会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式)
- (2) 拠点区分事業活動明細書(別紙3 (㊴))
 - ア ふれあいサービスセンター事業
- (3) 拠点区分資金収支明細書(別紙3 (㊵))
 - ア ふれあいサービスセンター事業

5. 基本財産の増減の内容及び金額

該当なし

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩

該当なし

7. 担保に供している資産

該当なし

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
貸借対照表上、直接法で表示しているものは、以下のとおりである。
該当なし

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高
該当なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当なし

11. 重要な後発事象
該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び
純資産の状態を明らかにするために必要な事項
該当なし

計算書類に対する注記

(障害相談支援事業拠点区分用)

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
 - ・該当なし
- (2) 固定資産の減価償却の方法
 - ・定額法とする。
- (3) 引当金の計上基準
 - ・該当なし

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 採用する退職給付制度

該当なし

4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- (1) 障害相談支援事業拠点計算書類(会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式)
- (2) 拠点区分事業活動明細書(別紙3(⑪))
 - ア 特定相談支援事業
- (3) 拠点区分資金収支明細書(別紙3(⑩))
 - ア 特定相談支援事業

5. 基本財産の増減の内容及び金額

該当なし

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩

該当なし

7. 担保に供している資産

該当なし

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
貸借対照表上、直接法で表示しているものは、以下のとおりである。
該当なし

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高
該当なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当なし

11. 重要な後発事象
該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び
純資産の状態を明らかにするために必要な事項
該当なし

計算書類に対する注記

(ホームヘルパー事業拠点区分用)

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
 - ・該当なし
- (2) 固定資産の減価償却の方法
 - ・定額法とする。
- (3) 引当金の計上基準
 - ・該当なし

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 採用する退職給付制度

該当なし

4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- (1) ホームヘルパー事業拠点計算書類(会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式)
- (2) 拠点区分事業活動明細書(別紙3(Ⅺ))
 - ア ホームヘルパーセンター事業(介護保険)
 - イ ホームヘルパーセンター事業(障害者総合支援)
 - ウ ホームヘルパー派遣事業
 - エ 福祉介助サービス事業
 - オ 高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業
- (3) 拠点区分資金収支明細書(別紙3(Ⅹ))
 - ア ホームヘルパーセンター事業(介護保険)
 - イ ホームヘルパーセンター事業(障害者総合支援)
 - ウ ホームヘルパー派遣事業
 - エ 福祉介助サービス事業
 - オ 高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業

5. 基本財産の増減の内容及び金額

該当なし

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩
該当なし

7. 担保に供している資産
該当なし

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
貸借対照表上、直接法で表示しているものは、以下のとおりである。
該当なし

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高
該当なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当なし

11. 重要な後発事象
該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び
純資産の状態を明らかにするために必要な事項
該当なし

計算書類に対する注記

(総合福祉センター拠点区分用)

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
 - ・該当なし
- (2) 固定資産の減価償却の方法
 - ・該当なし
- (3) 引当金の計上基準
 - ・該当なし

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 採用する退職給付制度

該当なし

4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- (1) 総合福祉センター拠点計算書類(会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式)
- (2) 拠点区分事業活動明細書(別紙3 (㊴))
 - ア 中央児童センター事業
 - イ 中央老人福祉センター事業
 - ウ 身体障害者福祉センター事業
 - エ 総合福祉センター事業
- (3) 拠点区分資金収支明細書(別紙3 (㊵))
 - ア 中央児童センター事業
 - イ 中央老人福祉センター事業
 - ウ 身体障害者福祉センター事業
 - エ 総合福祉センター事業

5. 基本財産の増減の内容及び金額

該当なし

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩
該当なし

7. 担保に供している資産
該当なし

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
該当なし

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高
該当なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当なし

11. 重要な後発事象
該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び
純資産の状態を明らかにするために必要な事項
該当なし

計算書類に対する注記

(北部福祉センター拠点区分用)

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
 - ・該当なし
- (2) 固定資産の減価償却の方法
 - ・該当なし
- (3) 引当金の計上基準
 - ・該当なし

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 採用する退職給付制度

該当なし

4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- (1) 北部福祉センター拠点計算書類(会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式)
- (2) 拠点区分事業活動明細書(別紙3(⑪))
 - ア 北部老人福祉センター事業
- (3) 拠点区分資金収支明細書(別紙3(⑩))
 - ア 北部老人福祉センター事業

5. 基本財産の増減の内容及び金額

該当なし

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩

該当なし

7. 担保に供している資産

該当なし

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
該当なし

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高
該当なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当なし

11. 重要な後発事象
該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び
純資産の状態を明らかにするために必要な事項
該当なし

計算書類に対する注記

(西部福祉センター拠点区分用)

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
 - ・該当なし
- (2) 固定資産の減価償却の方法
 - ・該当なし
- (3) 引当金の計上基準
 - ・該当なし

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 採用する退職給付制度

該当なし

4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- (1) 西部福祉センター拠点計算書類(会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式)
- (2) 拠点区分事業活動明細書(別紙3(Ⅺ))
 - ア 西部児童センター事業
 - イ 西部老人福祉センター事業
- (3) 拠点区分資金収支明細書(別紙3(Ⅹ))
 - ア 西部児童センター事業
 - イ 西部老人福祉センター事業

5. 基本財産の増減の内容及び金額

該当なし

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩

該当なし

7. 担保に供している資産

該当なし

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当なし

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

該当なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

計算書類に対する注記

(作野福祉センター拠点区分用)

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
 - ・該当なし
- (2) 固定資産の減価償却の方法
 - ・該当なし
- (3) 引当金の計上基準
 - ・該当なし

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 採用する退職給付制度

該当なし

4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- (1) 作野福祉センター拠点計算書類(会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式)
- (2) 拠点区分事業活動明細書(別紙3(⑪))
 - ア 作野老人福祉センター事業
- (3) 拠点区分資金収支明細書(別紙3(⑩))
 - ア 作野老人福祉センター事業

5. 基本財産の増減の内容及び金額

該当なし

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩

該当なし

7. 担保に供している資産

該当なし

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
該当なし

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高
該当なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当なし

11. 重要な後発事象
該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び
純資産の状態を明らかにするために必要な事項
該当なし

計算書類に対する注記

(桜井福祉センター拠点区分用)

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
 - ・該当なし
- (2) 固定資産の減価償却の方法
 - ・該当なし
- (3) 引当金の計上基準
 - ・該当なし

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 採用する退職給付制度

該当なし

4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- (1) 桜井福祉センター拠点計算書類(会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式)
- (2) 拠点区分事業活動明細書(別紙3(Ⅺ))
 - ア 桜井老人福祉センター事業
 - イ 身体障害者デイサービスセンター事業
- (3) 拠点区分資金収支明細書(別紙3(Ⅹ))
 - ア 桜井老人福祉センター事業
 - イ 身体障害者デイサービスセンター事業

5. 基本財産の増減の内容及び金額

該当なし

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩

該当なし

7. 担保に供している資産

該当なし

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
貸借対照表上、直接法で表示するものは、以下のとおりである。

該当なし

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

該当なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び
純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

計算書類に対する注記

(中部福祉センター拠点区分用)

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
 - ・該当なし
- (2) 固定資産の減価償却の方法
 - ・該当なし
- (3) 引当金の計上基準
 - ・該当なし

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 採用する退職給付制度

該当なし

4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- (1) 中部福祉センター拠点計算書類(会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式)
- (2) 拠点区分事業活動明細書(別紙3(⑪))
 - ア 中部老人福祉センター事業
- (3) 拠点区分資金収支明細書(別紙3(⑩))
 - ア 中部老人福祉センター事業

5. 基本財産の増減の内容及び金額

該当なし

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩

該当なし

7. 担保に供している資産

該当なし

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
該当なし

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高
該当なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当なし

11. 重要な後発事象
該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び
純資産の状態を明らかにするために必要な事項
該当なし

計算書類に対する注記

(安祥福祉センター拠点区分用)

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
 - ・該当なし
- (2) 固定資産の減価償却の方法
 - ・該当なし
- (3) 引当金の計上基準
 - ・該当なし

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 採用する退職給付制度

該当なし

4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- (1) 安祥福祉センター拠点計算書類(会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式)
- (2) 拠点区分事業活動明細書(別紙3(Ⅺ))
 - ア 安祥児童センター事業
 - イ 安祥老人福祉センター事業
- (3) 拠点区分資金収支明細書(別紙3(Ⅹ))
 - ア 安祥児童センター事業
 - イ 安祥老人福祉センター事業

5. 基本財産の増減の内容及び金額

該当なし

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩

該当なし

7. 担保に供している資産

該当なし

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当なし

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

該当なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

計算書類に対する注記

(明祥福祉センター拠点区分用)

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
 - ・該当なし
- (2) 固定資産の減価償却の方法
 - ・該当なし
- (3) 引当金の計上基準
 - ・該当なし

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 採用する退職給付制度

該当なし

4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- (1) 明祥福祉センター拠点計算書類(会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式)
- (2) 拠点区分事業活動明細書(別紙3(⑪))
 - ア 明祥老人福祉センター事業
- (3) 拠点区分資金収支明細書(別紙3(⑩))
 - ア 明祥老人福祉センター事業

5. 基本財産の増減の内容及び金額

該当なし

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩

該当なし

7. 担保に供している資産

該当なし

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
該当なし

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高
該当なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当なし

11. 重要な後発事象
該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び
純資産の状態を明らかにするために必要な事項
該当なし

計算書類に対する注記

(居宅介護支援事業拠点区分用)

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
 - ・該当なし
- (2) 固定資産の減価償却の方法
 - ・定額法とする。
- (3) 引当金の計上基準
 - ・該当なし

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 採用する退職給付制度

該当なし

4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- (1) 居宅介護支援事業拠点計算書類(会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式)
- (2) 拠点区分事業活動明細書(別紙3(⑪))
 - ア 居宅介護支援事業
- (3) 拠点区分資金収支明細書(別紙3(⑩))
 - ア 居宅介護支援事業

5. 基本財産の増減の内容及び金額

該当なし

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩

該当なし

7. 担保に供している資産

該当なし

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
貸借対照表上、直接法で表示しているものは、以下のとおりである。
該当なし

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高
該当なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当なし

11. 重要な後発事象
該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び
純資産の状態を明らかにするために必要な事項
該当なし

計算書類に対する注記

(地域包括支援事業拠点区分用)

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
 - ・該当なし
- (2) 固定資産の減価償却の方法
 - ・定額法とする。
- (3) 引当金の計上基準
 - ・該当なし

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 採用する退職給付制度

該当なし

4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- (1) 地域包括支援事業拠点計算書類(会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式)
- (2) 拠点区分事業活動明細書(別紙3(Ⅺ))
 - ア 地域包括支援センター中部事業
 - イ 介護予防支援事業
- (3) 拠点区分資金収支明細書(別紙3(Ⅹ))
 - ア 地域包括支援センター中部事業
 - イ 介護予防支援事業

5. 基本財産の増減の内容及び金額

該当なし

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩

該当なし

7. 担保に供している資産

該当なし

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
貸借対照表上、直接法で表示しているものは、以下のとおりである。

該当なし

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

該当なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び
純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

計算書類に対する注記

(成年後見支援事業拠点区分用)

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
 - ・該当なし
- (2) 固定資産の減価償却の方法
 - ・定額法とする。
- (3) 引当金の計上基準
 - ・該当なし

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 採用する退職給付制度

該当なし

4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- (1) 成年後見支援事業拠点計算書類(会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式)
- (2) 拠点区分事業活動明細書(別紙3(⑪))
 - ア 成年後見支援事業
- (3) 拠点区分資金収支明細書(別紙3(⑩))
 - ア 成年後見支援事業

5. 基本財産の増減の内容及び金額

該当なし

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩

該当なし

7. 担保に供している資産

該当なし

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
貸借対照表上、直接法で表示しているものは、以下のとおりである。
該当なし

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高
該当なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当なし

11. 重要な後発事象
該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び
純資産の状態を明らかにするために必要な事項
該当なし

財産目録

令和6年3月31日

財 産 目 録
令和 6 年 3 月 31 日 現在

貸借対照表科目		場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
(単位：円)							
1 資産の部							
1 流動資産							
現金預金							
現金							
社会福祉事業	現金手許有高		—	社会福祉事業用として	—	—	90,000
善意銀行	現金手許有高		—	資金貸付用として	—	—	100,000
公益事業	現金手許有高		—	公益事業用として	—	—	50,000
法外援護	現金手許有高		—	行旅入援護金として	—	—	10,000
				小計			250,000
預貯金							
碧信普 (法人、企画広報、福祉推進)	碧海信用金庫 本店営業部 普通	6071642	—	事業用資金として	—	—	42,199,247
碧信普 (地域福祉活動推進事業)	碧海信用金庫 本店営業部 普通	6071668	—	事業用資金として	—	—	15,435,547
碧信普 (福祉サービス利用援助事業)	碧海信用金庫 本店営業部 普通	6071684	—	事業用資金として	—	—	1,248,379
碧信普 (共同募金配分事業)	碧海信用金庫 本店営業部 普通	6071692	—	事業用資金として	—	—	2,630,225
碧信普 (安城善意銀行事業)	碧海信用金庫 本店営業部 普通	6071707	—	事業用資金として	—	—	12,467,959
碧信普 (資金貸付事業)	碧海信用金庫 本店営業部 普通	6071715	—	事業用資金として	—	—	14,699,464
碧信普 (ボランティア活動振興事業)	碧海信用金庫 本店営業部 普通	6071723	—	事業用資金として	—	—	3,855,752
碧信普 (ふれあいサポーター事業)	碧海信用金庫 本店営業部 普通	6071749	—	事業用資金として	—	—	1,849,447
碧信普 (障害相談支援事業)	碧海信用金庫 本店営業部 普通	6071757	—	事業用資金として	—	—	9,022,080
碧信普 (ホームヘルパー事業)	碧海信用金庫 本店営業部 普通	6071812	—	事業用資金として	—	—	50,073,882
碧信普 (総合福祉センター)	碧海信用金庫 本店営業部 普通	6071846	—	事業用資金として	—	—	18,947,343
碧信普 (北部福祉センター)	碧海信用金庫 本店営業部 普通	6071854	—	事業用資金として	—	—	4,348,474
碧信普 (西部福祉センター)	碧海信用金庫 本店営業部 普通	6071804	—	事業用資金として	—	—	8,523,099
碧信普 (作野福祉センター)	碧海信用金庫 本店営業部 普通	6071862	—	事業用資金として	—	—	8,942,722
碧信普 (桜井福祉センター)	碧海信用金庫 本店営業部 普通	6071870	—	事業用資金として	—	—	10,818,666
碧信普 (中部福祉センター)	碧海信用金庫 本店営業部 普通	6071888	—	事業用資金として	—	—	8,352,929
碧信普 (安祥福祉センター)	碧海信用金庫 本店営業部 普通	6071901	—	事業用資金として	—	—	8,270,531
碧信普 (居宅介護支援事業)	碧海信用金庫 本店営業部 普通	6072070	—	事業用資金として	—	—	3,818,895
碧信普 (地域包括支援事業)	碧海信用金庫 本店営業部 普通	6072062	—	事業用資金として	—	—	7,115,363
碧信普 (成年後見支援事業)	碧海信用金庫 本店営業部 普通	6072088	—	事業用資金として	—	—	5,021,793
碧信普 (給与・税金預り金)	碧海信用金庫 本店営業部 普通	6060732	—	事業用資金として	—	—	2,847,868
碧信普 (明祥福祉センター)	碧海信用金庫 本店営業部 普通	6093797	—	事業用資金として	—	—	965,980
				小計			241,455,645
事業未収金							
居宅介護料収入介護報酬収入未収金	介護報酬等		—	介護報酬等	—	—	2,068,671
居宅介護料収入利用者負担金収入未収金	利用者負担金等		—	利用者負担金等	—	—	142,855
居宅介護支援費介護料収入未収金	居宅介護料、予防介護料等		—	居宅介護料、予防介護料等	—	—	6,308,428
介護予防・日常生活支援総合事業収入未収金	総合事業収入等		—	総合事業収入等	—	—	385,469
その他の未収金	障害者サービス事業収入等		—	障害者サービス事業収入等	—	—	15,243,959
				小計			24,149,382
未収金			—		—	—	8,543,000
未収補助金			—		—	—	6,000,000
立替金			—	雇用保険料等	—	—	5,494,000
前払金			—	労災保険、雇用保険料等	—	—	51,359
				小計			20,088,359
							285,943,386
流動資産合計							
2 固定資産							
(1) 基本財産							
定期預金	碧海信用金庫 本店営業部 定期	7311895	—	基本財産	—	—	2,000,000
							2,000,000
(2) その他の固定資産							
機械及び装置	決算附属明細書 固定資産管理台帳に記載		—	カービス提供に必要な機械及び装置	397,720	397,718	397,720
車輛運搬具	決算附属明細書 固定資産管理台帳に記載		—	カービス提供に必要な車輛	40,746,353	38,789,013	40,746,353
器具及び備品	決算附属明細書 固定資産管理台帳に記載		—	カービス提供に必要な器具及び備品	45,115,188	21,705,795	45,115,188
有形リース資産	カーバー仮想化、印刷機 (riso orphis)		—	事業運営上必要なリース資産	8,372,433	4,904,793	8,372,433
減価償却累計額							△65,825,789
権利	決算附属明細書 固定資産管理台帳に記載		—	事業運営上必要な権利	855,760	0	855,760
ソフトウェア	決算附属明細書 固定資産管理台帳に記載		—	カービス提供に必要なソフトウェア	17,509,607	16,408,673	1,232,934
貸付事業等貸付金			—	未償還貸付金	—	—	956,450
退職給付引当資産			—		—	—	—
債券	野村證券 岡崎支店 (名古屋高速道路公社債20年)		—	将来における退職給付のため	—	—	100,000,000
	野村証券 岡崎支店 (福岡市公募公社債20年)		—	将来における退職給付のため	—	—	80,000,000

普通預金	國三証券 名古屋支店 (愛知県公募公債10年)	—	将来における退職給付のため	—	20,000,000
定期預金	碧海信用金庫 本店営業部 普通 6106449	—	将来における退職給付のため	—	112,525,540
	碧海信用金庫 本店営業部 定期 7618178	—	将来における退職給付のため	—	30,000,000
	碧海信用金庫 本店営業部 定期 7629185	—	将来における退職給付のため	—	30,000,000
	西尾信用金庫 安城支店 定期 1311364	—	将来における退職給付のため	—	40,000,000
共済会退職給付引当資産	一般財団法人愛知県民間社会福祉事業職員共済会	—	将来における退職給付のため	—	66,905,160
	小計				469,430,700
中根文庫設置積立資産	碧海信用金庫 本店営業部 普通 1038977	—	福祉関連貸出文庫の充実のため	—	110,737
会費収入繰越積立資産	碧海信用金庫 本店営業部 普通 1038977	—	一般会費受入のため	—	8,700,467
福祉基金積立資産					
債券		—		—	
	野村證券 岡崎支店 (兵庫県公募公債10年)	—	社会福祉事業へ活用するための資金運用として	—	100,000,000
	野村證券 岡崎支店 (横浜市長公債10年)	—	社会福祉事業へ活用するための資金運用として	—	30,000,000
	野村證券 岡崎支店 (兵庫県公募公債20年)	—	社会福祉事業へ活用するための資金運用として	—	100,000,000
	野村證券 岡崎支店 (国際協力機構債券20年)	—	社会福祉事業へ活用するための資金運用として	—	100,000,000
	野村證券 岡崎支店 (名古屋高速道路公社債20年)	—	社会福祉事業へ活用するための資金運用として	—	50,000,000
	野村證券 岡崎支店 (福岡市公募公債20年)	—	社会福祉事業へ活用するための資金運用として	—	20,000,000
	野村證券 岡崎支店 (東海国立大学機構債券20年)	—	社会福祉事業へ活用するための資金運用として	—	80,000,000
	大和証券 岡崎支店 (共同発行市場公募地方債10年)	—	社会福祉事業へ活用するための資金運用として	—	10,000,000
	みずほ証券 名古屋支店 (国際協力機構債20年)	—	社会福祉事業へ活用するための資金運用として	—	30,000,000
	國三証券 本店営業部 普通 1113724	—	社会福祉事業へ活用するための資金運用として	—	22,693,751
普通預金	碧海信用金庫 本店営業部 普通 1113724	—	社会福祉事業へ活用するための資金運用として	—	0
定期預金		—		—	542,693,751
賞与積立資産	碧海信用金庫 本店営業部 普通 1038977	—	将来における賞与支払のため (令和6年6月賞与分)	—	54,948,387
善意銀行事業基金積立資産	あいち中央農業協同組合 本店 定期 44139061	—	災害時における救済費用及び	—	20,000,000
	西尾信用金庫 安城支店 定期 1310944	—	貸付事業における貸付原資として	—	10,000,000
運転資金積立資産	碧海信用金庫 本店営業部 普通 1113711	—	運転資金として	—	43,000,000
長期前払費用	決算附属明細書 固定資産管理台帳に記載	—	自動車リース料として	—	281,500
その他の固定資産合計					1,181,016,591
固定資産合計					1,183,016,591
II 負債の部					1,468,959,977
I 流動負債					
事業未払金					
補助金精算額未払金		—		—	37,341,905
委託料精算額未払金		—		—	78,646,217
人件費未払金		—		—	38,572,715
事業費未払金		—		—	7,579,145
事務費未払金		—		—	27,384,370
その他の未払金		—		—	8,890,917
小計					198,415,269
その他の未払金		—		—	4,643,000
1年以内返済予定リース債務		—		—	1,040,292
預り金		—		—	
報酬税金		—		—	122,142
職員預り金		—		—	261,485
労働保険料		—		—	810,533
所得税		—		—	1,784,200
住民税		—		—	28,424
社会保険料		—		—	2,884,642
前受金		—		—	66,000
賞与引当金		—		—	54,948,387
流動負債合計					262,119,732
2 固定負債					
リース債務		—		—	2,301,252
退職給付引当金		—		—	402,525,540
退職給付引当金		—		—	66,905,160
共済会退職給付引当金		—		—	469,430,700
小計					471,731,952
固定負債合計					733,851,684
負債合計					735,108,293
差引純資産					

監査報告書

監査報告書

令和6年5月16日

社会福祉法人 安城市社会福祉協議会

会 長 神 谷 明 文 様

監事 渡辺 和彦

監事 國田 毅

私たち監事は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの令和5年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討しました。

2 監査の結果

（1）事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

（2）計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上